

ブロックだより

関東ブロック総会 (千葉県支部主催)

平成30年11月11日(日)・千葉市の東京ベイ幕張ホールにおいて、第39回関東ブロック総会千葉県大会が開催された。

1日目は、第一部として14時より総会を開始し、来賓として通信教育部校友会副会長脇岡堅氏及び日本大学校友会千葉支部幹事長遠藤茂勝氏を迎えた。

司会は立澤副支部長が務め、次の次第で進められた。

- 一、校歌斉唱
- 二、開会の辞
- 三、主催者挨拶 (金子支部長及び仲井支部長)
- 四、祝辞(脇岡副会長)
- 五、議長団選出 (仲井支部長)
- 六、議事
- 七、閉会の辞
- 八、報告
- 九、表彰状授与式(金子支部長)
- 十、懇親会

の表彰状授与式が行われ、司会は仲井支部長が務め、脇岡副会長が祝辞を述べられた。

表彰されたのは、目黒顧問・森顧問・黒岩幹事・出崎副支部長・高橋(英)監査の以上6名である。謝辞を黒岩幹事及び高橋(英)監査が述べられた。17時半からは、会場をセントラルタワー46階スイートルームへ移動し、懇親会が行われた。

鈴木副会長及び山本副会長が挨拶され、鈴木副会長より本部役員紹介があり、石川相談役の乾杯の音頭で始まった。

懇談をほさみ、遠藤幹事長より挨拶があった。また次期開催地の栃木県支部高橋支部長より挨拶があった。

初日はお天気に恵まれ、懇親会会場は幕張の夜景がよく見えたため、会をさらに盛り上げる一助となりました。あつとの間には有意義な時間が流れ、19時半に1日目を無事に終えました。

2日目の庭園散策は雨天のため中止となり、2日目の閉会の言葉が、石川相談役の乾杯の音頭で始まった。

懇談をほさみ、遠藤幹事長より挨拶があった。また次期開催地の栃木県支部高橋支部長より挨拶があった。

初日はお天気に恵まれ、懇親会会場は幕張の夜景がよく見えたため、会をさらに盛り上げる一助となりました。あつとの間には有意義な時間が流れ、19時半に1日目を無事に終えました。

2日目の庭園散策は雨天のため中止となり、2日目の閉会の言葉が、石川相談役の乾杯の音頭で始まった。

栃木県支部

令和の時代を迎える高揚感のなか、平成31年4月21日、宇都宮市内「ホテル丸治」において、2019年度栃木県支部総会を開催いたしました。今年度の総会は関東ブロック総会の開催地を受諾したなかでの総会となり、その概要を決める会合となりました。

総会には、大島幹事長の司会進行で始まり、最初に高松支部長から挨拶があり、続いて議長役の支部長の進行で前年度事業報告・会計報告があり承認されました。続いて本年度の事業計画・予算についても承認となりました。

次の議案として、本年度開催の関東ブロック総会について、16名の参加により、山口浩子庶務の司会で開催しました。

総会は通信教育部校友会副会長の白戸忠志監査の開会の挨拶に始まり、「日本大学校歌」ならびに通信教育部の歌「ロマン歌」が富澤良光副支部長の指揮のもと、声高らかに斉唱されました。

金子栄輔支部長の挨拶の後、各自で自己紹介を行った。議長に金子支部長が選出され、議事に入る。第1号議案から第7号議案まで、30年度事業報告・決算報告・監査報告が承認された。

11月16日(日)の兵庫支部総会を開催しました。議長は岸本副支部長が務め、進行しました。前田支部長の挨拶は、

近畿ブロック総会 (京都府支部主催)

平成30年9月30日(日)に開催すべく準備を進め、当日は本部から金子栄輔副会長並びに富澤良光副幹事長にお越しいただき、各支部から活動状況等々の報告があった後、病室療養中の津村博文近畿ブロック長の残任期間について正式に代行を立てることを満場一致で決定し、代りに立花初代奈良支部長にお願ひすることによって決定。来年度の総会開催地を奈良県と決定し、会議は終了。

集合記念写真を撮影後、懇親会に入り、浅野恭司本部相談役の乾杯の音頭で出席者一同グラスを高く掲げて始まり、初めにお会いする人、スクーリング中の思い出話等々に花を咲かせ、カラオケで自慢のものを披露、次期開催支部である立花初代奈良支部長の閉会の挨拶があり、青春時代に帰って「青山脈」の大合唱で幕を閉じました。

(文責 山本 新)

四国ブロック総会 (香川県支部主催)

平成30年度四国ブロック総会は、香川県が担当して11月10日(土)高松市城東町のオークラホテル高松で開催しました。

来賓として日本大学から通信教育部長の関正晴先生、通信教育部校友会本部から鈴木勝会長を迎え、ブロック内の出席者10名をあわせて計12名の出席者を得て行われました。進行は木村進副支部長が務め、会議は先立ち、

会議では、校歌斉唱の後、土井榮次四国ブロック長の挨拶が続き、通信教育部長の挨拶、そして大学の現況と今後の予定について、また通信教育部校友会長の挨拶と校友会の近況等の報告がありました。引き続き、自己紹介や各県の現況等について各県支部長より報告があり、今後さらに連携を強くすることとなりました。

続いて、四国ブロック内の平成29年度行事報告や同30年度行事計画(案)の提案があり、原案どおり承認されました。また意見・要望において、校友会活性化のため、校友会活性化のため、熱のこもった意見交換が行われました。その後、次回開催地の山崎愛媛県支部長から歓迎の挨拶があり、最後に高橋香川県支部長の挨拶がありました。

(文責 高橋 治子)

東京都支部

平成30年度(第53期)定期総会を令和元年5月11日(土)午後1時より、日本大学通信教育部1号館5階ミーティングルームにおいて、16名の参加により、山口浩子庶務の司会で開催しました。

総会は通信教育部校友会副会長の白戸忠志監査の開会の挨拶に始まり、「日本大学校歌」ならびに通信教育部の歌「ロマン歌」が富澤良光副支部長の指揮のもと、声高らかに斉唱されました。

金子栄輔支部長の挨拶の後、各自で自己紹介を行った。議長に金子支部長が選出され、議事に入る。第1号議案から第7号議案まで、30年度事業報告・決算報告・監査報告が承認された。

11月16日(日)の兵庫支部総会を開催しました。議長は岸本副支部長が務め、進行しました。前田支部長の挨拶は、

東京都支部

平成30年度(第53期)定期総会を令和元年5月11日(土)午後1時より、日本大学通信教育部1号館5階ミーティングルームにおいて、16名の参加により、山口浩子庶務の司会で開催しました。

総会は通信教育部校友会副会長の白戸忠志監査の開会の挨拶に始まり、「日本大学校歌」ならびに通信教育部の歌「ロマン歌」が富澤良光副支部長の指揮のもと、声高らかに斉唱されました。

金子栄輔支部長の挨拶の後、各自で自己紹介を行った。議長に金子支部長が選出され、議事に入る。第1号議案から第7号議案まで、30年度事業報告・決算報告・監査報告が承認された。

11月16日(日)の兵庫支部総会を開催しました。議長は岸本副支部長が務め、進行しました。前田支部長の挨拶は、

東京都支部

平成30年度(第53期)定期総会を令和元年5月11日(土)午後1時より、日本大学通信教育部1号館5階ミーティングルームにおいて、16名の参加により、山口浩子庶務の司会で開催しました。

総会は通信教育部校友会副会長の白戸忠志監査の開会の挨拶に始まり、「日本大学校歌」ならびに通信教育部の歌「ロマン歌」が富澤良光副支部長の指揮のもと、声高らかに斉唱されました。

金子栄輔支部長の挨拶の後、各自で自己紹介を行った。議長に金子支部長が選出され、議事に入る。第1号議案から第7号議案まで、30年度事業報告・決算報告・監査報告が承認された。

11月16日(日)の兵庫支部総会を開催しました。議長は岸本副支部長が務め、進行しました。前田支部長の挨拶は、

支部だより

埼玉県支部

日本大学通信教育部校友会埼玉県支部総会が4月20日(土)、さいたま市浦和コミュニティセンターにて32名(ただしうち委任状21通)の出席者により開催されました。

総会では、事業報告・決算報告・支部役員・事業計画・予算の5つの議案が承認され、2019年度の支部活動がスタートすることとなりました。

今年度の埼玉県支部の事業は、春の文化講演会、秋の歴史散策を企画しております。

総会終了後、通信教育部とも縁の深い、日本大学文学部助教の小川雄先生による「進化した徳川家 国衆・戦国大名・天下人」と題する文化講演会を開催いたしました。大河ドラマ等でよく取り上げられる時代ですが、学問と小説は違い、また徳川幕府のフィクションを通して家康の人物像が形成されたことなど、伝説と学説の違いがよくわかる、興味深い講演でした。

講演終了後は、小川先生による「進化した徳川家 国衆・戦国大名・天下人」と題する文化講演会を開催いたしました。大河ドラマ等でよく取り上げられる時代ですが、学問と小説は違い、また徳川幕府のフィクションを通して家康の人物像が形成されたことなど、伝説と学説の違いがよくわかる、興味深い講演でした。

講演終了後は、小川先生による「進化した徳川家 国衆・戦国大名・天下人」と題する文化講演会を開催いたしました。大河ドラマ等でよく取り上げられる時代ですが、学問と小説は違い、また徳川幕府のフィクションを通して家康の人物像が形成されたことなど、伝説と学説の違いがよくわかる、興味深い講演でした。

兵庫支部

平成31年3月16日(日)の兵庫支部総会を開催しました。議長は岸本副支部長が務め、進行しました。前田支部長の挨拶は、

兵庫支部

平成31年3月16日(日)の兵庫支部総会を開催しました。議長は岸本副支部長が務め、進行しました。前田支部長の挨拶は、

総会は、開催幹事支部の山本新二京都府支部長の司会兼議長で進行した。会議に先立ち物故校友会員に対し黙祷を行った後、校歌の斉唱を行い、極めて重い病気で療養入院のため欠席された津村博文近畿ブロック長に代わり、三村洋一近畿ブロック長臨時代行の挨拶、再度お越しいただいたご来賓の金子栄輔副会長

音頭で出席者一同グラスを高く掲げて始まり、初めにお会いする人、スクーリング中の思い出話等々に花を咲かせ、カラオケで自慢のものを披露、次期開催支部である立花初代奈良支部長の閉会の挨拶があり、青春時代に帰って「青山脈」の大合唱で幕を閉じました。

(文責 山本 新)

先生による「進化した徳川家 国衆・戦国大名・天下人」と題する文化講演会を開催いたしました。大河ドラマ等でよく取り上げられる時代ですが、学問と小説は違い、また徳川幕府のフィクションを通して家康の人物像が形成されたことなど、伝説と学説の違いがよくわかる、興味深い講演でした。

講演終了後は、小川先生による「進化した徳川家 国衆・戦国大名・天下人」と題する文化講演会を開催いたしました。大河ドラマ等でよく取り上げられる時代ですが、学問と小説は違い、また徳川幕府のフィクションを通して家康の人物像が形成されたことなど、伝説と学説の違いがよくわかる、興味深い講演でした。

議長は岸本副支部長が務め、進行しました。前田支部長の挨拶は、

議長は岸本副支部長が務め、進行しました。前田支部長の挨拶は、

